

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名：子ども家庭支援の心理学 英語表記：Psychology of Child and Family Support ナンバリング：2203		単位数：2単位 (半期) 講義	担当教員名：加藤達矢 担当形態：単独
科目/系列	/保育の対象の理解に関する科目		
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目	/子ども家庭支援の心理学		
【授業の到達目標及びテーマ】 1. 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期体験の重要性、各時期の移行、発達課題等について理解する。 2. 家族・家庭の意義や機能を理解し、子どもとその家庭を包括的にとらえる視点を習得する。 3. 子育て家庭をめぐる社会の状況と課題を理解し、現代の子どもの精神保健と課題を知る。			
【授業の概要】 生涯発達についての理解を深め、家族・家庭の意義や現代社会の動向などを学ぶと共に、子どもの心の問題について学習する。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			○
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			
【授業計画】 第1回：生涯発達について 第2回：乳幼児期から学童期前期までの発達 第3回：学童期後期から青年期までの発達 第4回：成人期・老年期までの発達 第5回：家族・家庭の意義と機能 第6回：親子関係・家族関係の理解 第7回：子育ての経験と親としての育ち 第8回：子育て家庭に関する現状と課題 第9回：子育てを取り巻く社会的状況 第10回：ライフコースと仕事・子育て 第11回：多様な家庭とその理解 第12回：特別な配慮を要する家庭（養育者のメンタルヘルス） 第13回：子どもの生活・生育歴とその影響 第14回：子どもの心の健康にかかわる問題（精神疾患） 第15回：子どもの心の健康にかかわる問題（発達障害、他） 定期試験：筆記		【授業時間外の学習】 ・授業前に配布資料、参考文献等をもとに学習し、関心のある点、疑問点を整理しておく。疑問点については、調べておく。 ・授業後は配布資料や参考文献等により関心のあるテーマについての理解をさらに深め、学習した内容についてまとめしておく。 ・授業前後には、合わせて1時間程度の自主学習を要する。	

【授業の方法】 講義・グループ演習やワーク。單元ごとの小レポートにコメントを入れて返却する。	
【テキスト】 なし。授業時に適宜プリントを配布する。	
【参考書・参考資料等】 授業内で紹介する。	
【学生に対する評価】 授業参画度（20%）、小レポート（30%）、定期試験（50%）、評価はルーブリックに準じる。	
【履修上の注意】 受講にあたっては、配布資料、参考文献等を参考に事前事後の学習を行い、グループでの演習には積極的に取り組むこと。	
実務経験の有無：有	実務経験：精神科クリニック勤務（臨床心理士、公認心理師）
【実務経験を生かした教育内容】 精神科クリニック勤務の経験を活かして、実践的な講義を行う。	